ID <<SYPID>> 患者氏名 <<ORIBP_KANJI>> 様

人工肛門閉鎖術を受けられる方へ

この計画書は診療の概要を記したものであり、状況に応じて変更することがあります。 ※何かご不明な点があったら、担当医又は看護師にお尋ねください。

年月日	2018年4月1日	4月2日		4月3日	4月4日 ~ 4月6日	4月7日 ~ 4月9日	4月10日 ~ 4月11日
経過	入院	<u></u> 手術当日		手術1日後	手術2~4日後	手術5~7日後	手術8日後~退院日(手術9日後)
達成目標	・感冒症状がなく、術前検査が終 了している ・手術の必要性が理解できる	7 7 77 7	・出血がない ・痛みによる苦痛が少ない ・安静が守れている	・出血がない ・痛みが調整できる ・安静が守れている	・出血がない・痛みが調整できる・体を動かすことができる・食事摂取ができる・傷の腫れや赤みがない	 出血がない 高い熱(38.5度)や検査値に異常がない 痛みが調整でき病棟内歩行ができる 食事摂取ができる 傷の腫れや赤みがない 	・痛みが調整できる ・高い熱(38.5度)や検査値に異常がない ・食事摂取ができる ・傷の腫れや赤みがない
検査 治療 処置	・検査や採血	・血栓予防の弾性ストッキングをはく・術衣を着る	手術室で胃チューブ 挿入 ――(鼻から胃に管を入れる)E酸素マスク ―――	・採血とレントゲン(胸・腹)検査 - 抜去 術後数時間で中止	・傷の確認、ガーゼ交換 ——→	・採血とレントゲン、腹部CT	•採血
内服薬 注射	・下剤液(14時頃) ・下剤錠剤(寝る前)		· 点滴		·皮下注射(血栓予防) ———— 中止	中止	
活動 安静度	・自由		・ベッド上安静	・許可あれば病棟歩行可	·自由		
食事	•昼食以降絶食	・水分は予定手術時間の約3時 間前まで	食べたり飲んだりできません	・朝6時から飲水開始		・術後5日目より流動食開始。以降、一日毎に胃腸食まで食事形態を変えます	
清潔	・お臍のそうじ ・シャワー ・洗髪			・体を拭きます		お腹の管が抜けたら、 シャワーできます	
排泄	制限なし		・手術室で尿管挿入────	尿管を抜く ・トイレまで歩行		【退院基準】 ・食事を半分以上食べられる	
指導説明書類	・医師より手術の説明 ・入院時オリエンテーション、術前・術後の準備等 ・ネームバンド装着 ・病状説明及び手術・麻酔・輸血語・手術前オリエンテーション ・病衣使用許可 特別室入室許可・肺血栓塞栓症予防についての説	I	• 医師の術後説明	 ベッド上でもしっかり足を動かしましょう 【指導】 ・栄養指導 ・服薬指導 	・できる限り、歩行して血液の流 れをよくしましょう	・腸の動きが良い ・傷の腫れや赤みがない ・高い熱(38度以上)がない 【退院後の治療計画】 ・内服の継続 ・食事療養の継続 ・外来で術後経過をみます 【退院後の生活について】 ・手術によりできたお腹の傷は、流優しく洗ってください。傷の痛みや	包立てた石鹸を使って手のひらで P腫れ、赤みや膿がないか毎日傷
リハビリ・その他				・服楽指導 ・退院後の生活について指導 【連絡先】 徳島大学病院:088-631-3111 代表番号になっていますので、退 <u>外科外来:088-633-7136</u>	院後は下記にお知らせください	の観察をしましょう	くっついて食べ物の通りが悪くな 合や、強い腹痛を伴う嘔吐がある